

令和6年度

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

中間発表会のご案内 (YouTube 配信)

令和6～7年度研究主題

自分の今を、そして将来を楽しみにできる子に
—レジリエンスを高めながら—

本校では、子どもたちの積極的な社会生活への参加を教育目標として、教育実践に取り組んでいます。令和元年～令和5年の5年間は、発達支持的生徒指導(育てる生徒指導)の観点や、ICTの活用に重点を置き、子どもたちの考える力を育むことを目的に研究を進めてきました。本年度は、さらなる子どもの内面の成長をめざし、レジリエンスの観点から研究を進めています。レジリエンスを高めることが、自分の今を、そして将来を楽しみにできる子どもを育むことにつながると考え、その効果的なアプローチについて検証し、研究経過を報告します。

配信期間

令和7年2月4日(火)～令和7年2月16日(日)

配信方法

YouTube による限定配信

配信内容

①学校研究概要

②各学部による実践研究の経過報告

③講演

『学校教育におけるレジリエンスの可能性』

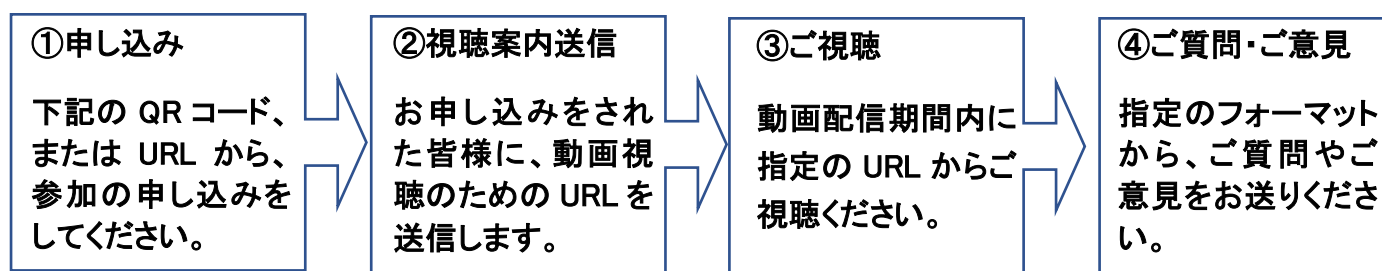
講師: 則定 百合子先生(和歌山大学)



各グループの概要

	学部・テーマ	概要	協力者
A	小学部 楽しいこといろいろ・ みんなそれぞれ	小学部ではレジリエンスにつながる「自己理解」「他者心理の理解」「問題解決志向」を育むことをめざします。友だちの好きなことをみんなで体験したり、運動会の学級対抗リレーの作戦を立てたりしながら、自分の気持ちや友だちの気持ちに気づき、思いが広がることを期待しています。	北岡 大輔 先生 (和歌山大学)
B	中学部 自分自身のレジリエンスに気付こう！	ポジティブな感情・ネガティブな感情など、普段あまり意識することのなかった感情の変化に目を向け、生活を振り返りながら、自分自身の「レジリエンス」に気付くことをめざしています。各学年の実態に応じて、気持ちを立て直すための様々な方法を考えていきます。	竹澤 大史 先生 (和歌山大学)
C	高等部普通科 知ろう！聞こう！ 先生の体験談	落ち込んだときにどう立ち直ったのかという体験談を身近な大人から話を聞き、スライドにまとめる活動に取り組みました。誰でも落ちこむことがあるということや、そこから立ち直れるということに気づき、レジリエンスについて知ることをめざしています。	山崎 由可里 先生 (和歌山大学)
D	高等部普通科総合産業コース 自分のレジリエンスについて考えよう	レジリエンスの視点から生徒の実態把握を行いました。レジリエンスの概念を知り、自分の体験と結び付けて考える学習などを通して、レジリエンスを高めることにつなげたいと考えています。将来的にいろいろなことにチャレンジできるようになることを期待しています。	古井 克憲 先生 (和歌山大学)

お申し込みからご視聴までの流れ



お申込締め切り: 令和7年1月24日(金)

お申込み用 URL: <https://forms.gle/iBpVkJHNmya1Y7wn6>



和歌山大学 支援学校

検索



お申込み用 QR コード

お問い合わせ

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

〒641-0031

和歌山市西小二里 2 丁目 5-18

TEL:073-444-1080 FAX:073-447-2597

Mail:wft-kenkyu@ml.wakayama-u.ac.jp